

平成30年の新年を迎えて皆さまお目出度うございます。この号がお手元に届く頃は新年会やら新春の気分にあふれていることと思います。今年で平成は30年を数えますが、これも来年の31年4月までと昨年決まっています。来年の5月には新しい元号のもとに日本の一つの時代区分がなされて将来の歴史が刻まれることとなります。西暦と元号暦との2種の紀年法が並行する現在ですが、グローバルには、あるいは長期間、歴史時代的時間を考えるときには世界共通の西暦年、中国風にいえば公元ですが、便利かもしれません。日本の元号は中国から取り入れたのですが、「大化の改新」のときに「大化」が用いられたのが嚆矢ともいわれます。過去には中国周囲の多くの国で使われたようですが、歴史的経緯の中で国自体が消滅、あるいは元号が廃されて、現在は日本風、日本独自の暦法ともいえるようです。さればそれ、やはり来る新しい時代にながしかの期待感を持つ、持ってしまうのは元号の効用でしょう。単なる雰囲気なのかもしれませんが、経済効果も少しあるようです。Scienceであり、Artである医学、医療、皮膚科学や皮膚科にとっては影響はほとんどないと思います。新知見が蓄積され、学問が進展し、またそれを支える人材が入れ替わって時代が動いてゆくだけです。そんなことを考えていますと、一編集子の年頭所感は、多少の抵抗を試みるにしても、「老兵は消え去るのみ」といったところですが、「君寂しからずや」ですが、これは如何ともしがたいところです。

新年号の特集は「薬疹・薬物障害」です。薬疹・薬物障害は治療上におこる、いわば治療効果が光の当たる表面とすればその裏側の問題点ともいえます。皮膚症状は視認できること、皮膚は免疫反応をおこしやすい障害頻度の高い臓器であることを考えますと、皮膚科医の役割も大きいといえます。また、薬疹・薬物障害の皮膚病変は極めて多彩ですが、近年、各種領域でさまざまな、また治療効果に優れた薬剤が多数上梓されており、薬疹・薬物障害もそれに従ってさまざまなものが出ます。最近はずっとでないにしても固定薬疹を時々経験しますし、血（脈）管障害、あるいは新しい抗痛剤（分子標的薬）の皮膚障害などにも遭遇します。多数の薬剤を併用する患者諸氏も多い昨今、薬疹・薬物障害の診断には詳細の問診と、知識・経験が試されるわけでもあり、新年の特集が先生方の診療のお役に立つことを期待したいと考えています。

さて今年の1月号から「ちょっと一息 医局ラウンジ」が連載されます。全国の大学医局を息抜きがてらご案内します。医局の雰囲気を、その構成・構成員の特徴や性格などをとおして肩の凝らない形で紹介できればと考えています。「ちょっと一息 医局ラウンジ」、「袷」調に言えば病診連携や大学内外の情報流通に資する一助になれば幸いです。全国1周するには時間がかかりますが、しばしお楽しみ下さい。もう一つの連載、安部正敏先生の「憧鉄雑感」が今月号で70回を数えます。鉄道を語る皮膚科医の痛快、且つ含蓄に富んだ内容にいつも感服しています。健筆を期待、お願いし、また楽しみにしたいと考えます。

(大塚藤男)

— 顧 問 —

肥田野信 大原國章

— 編集委員 —

大塚藤男 土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林 伸和

「皮膚科の臨床」第60巻 第1号 1月号

2018年1月1日発行（毎月1回1日発行）

定 価（本体 2,700 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 42,100 円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発 行 所 金原出版株式会社

発 行 者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

雑 誌 部 振替口座 00130-1-191269

印 刷 所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜（社）出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。